

第1問A 問題のねらい

生徒が民主主義についての説明をまとめた文章を通して，国民主権についての理解や，民主政治の本質について考察する力を問う。

	解答番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	配点(点)	設問平均点(点)	設問正答率(%)
			知識・技能	思考力・判断力・表現力				
問1	1	(1) 現代の政治 ア 民主政治の基本原則と日本国憲法	民主主義についての理解 先哲が書いた資料を読み取る技能	現代における政治，経済，国際関係に関わる「考え方」や制度，政策などの本質をとらえることができる。	問題の中で示された民主主義に関するいくつかの「考え方」とルソーが『社会契約論』で述べた「考え方」との関連性を考察する。	3	1.7	55.4
問2	2		日本国憲法が定める国会における意思決定の方法についての理解	/	日本国憲法が定める国会における議決の方法のうち，過半数の賛成で足りる場合を正しくとらえる。	3	0.9	30.9
問3	3		議会制民主主義における審議の原理についての理解	現実社会の諸課題を多面的・多角的に考察し，課題の解決に向けて，公正に判断することができる。	意思決定する際に，議論することの重要性について，生徒同士のそれぞれの立場を判断する。	3	2.4	79.1

* 「配点」とは，当該設問を正解した場合に与える得点である。

* 「設問平均点」とは，当該設問の受検者の得点の平均である。

* 「設問正答率」とは，当該設問を正答した受検者の割合である。

第1問B 問題のねらい

生徒が持ち寄った政治や経済に関連する資料等を題材として、民主政治の基本原理や現代政治の動向についての理解や、現状と課題を考察する力を問う。

	解答番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	配点(点)	設問平均点(点)	設問正答率(%)
			知識・技能	思考力・判断力・表現力				
問4	4	(1) 現代の政治 ア 民主政治の基本原理と日本国憲法 (2) 現代の経済 ア 現代経済の仕組みと特質	自由と平等についての理解	現代における政治, 経済, 国際関係に関わる「考え方」や制度, 政策などの本質をとらえることができる。	自由と平等の考え方について書かれた文章を読み, 両者の関係を理解し, それを基に具体的な政策や取組みについて考察する。	4	3.2	79.0
問5	5	(1) 現代の政治 ア 民主政治の基本原理と日本国憲法 イ 現代の国際政治 (2) 現代の経済 イ 国民経済と国際経済	世界の国々の政治体制等の特徴についての理解 人口千人当たりの公的部門における職員数の国際比較の資料を読み取る技能		人口千人当たりの公的部門における職員数を国際的に比較した資料を読み取り, 内容について正しくとらえる。	4	0.8	21.1
問6	6	(1) 現代の政治 ア 民主政治の基本原理と日本国憲法 (2) 現代の経済 ア 現代経済の仕組みと特質 (3) 現代社会の諸課題 ア 現代日本の政治や経済の諸課題	地方自治と地方財政についての理解 地方自治と地方財政の資料を読み取る技能	現代における政治, 経済, 国際関係に関わる事象の関係やその意味や意義について考察することができる。	地方自治制度や地方財政についての理解を基に, その特徴を示す適切な資料を判断する。	3	0.4	14.3
問7	7	(1) 現代の政治 ア 民主政治の基本原理と日本国憲法	国会を中心とした政治制度の理解		現代の日本政治の動きを踏まえ, 国会や各議院の仕組み等について, 正しくとらえる。	3	1.6	52.4
問8	8	(1) 現代の政治 ア 民主政治の基本原理と日本国憲法	国会と行政制度, 世論と政治参加, 行政権の拡大についての理解	現実社会の諸課題を多面的・多角的に考察し, 課題の解決に向けて, 公正に判断することができる。	行政を統制する方法を分類する考え方をを用いて, 日本の地方自治において, 行政を効果的に統制する仕組みについて考察する。	4	1.3	31.7

第2問 問題のねらい

第二次世界大戦後の出来事にかかる年表を通して、国際社会の変遷や国際法の意義、国際連合をはじめとした国際機構の役割、我が国の安全保障についての理解、国際政治の特質、国際社会の諸課題について考察する力を問う。

	解答番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	配点(点)	設問平均点(点)	設問正答率(%)
			知識・技能	思考力・判断力・表現力				
問1	9	(1) 現代の政治 イ 現代の国際政治	国際連合についての理解	現代における政治、経済、国際関係に関わる「考え方」や制度、政策などの本質をとらえることができる。	主権国家体制を前提とした国際機構である国際連合の目的について、他の国際機構との比較を基に考察する。	3	2.4	80.4
問2	10	(1) 現代の政治 ア 民主政治の基本原則と日本国憲法	労働基本権についての理解	現代における政治、経済、国際関係に関わる「考え方」や制度、政策などの本質をとらえることができる。	日本国憲法が保障する他の人権と関連付けて、労働基本権の意義を考察する。	3	1.9	64.0
問3	11	(1) 現代の政治 ア 民主政治の基本原則と日本国憲法 イ 現代の国際政治	人権を国際的に保障する条約についての理解	現代における政治、経済、国際関係に関わる「考え方」や制度、政策などの本質をとらえることができる。	国際人権規約及びその選択議定書に関する知識をもとに、三つの条文がそれぞれどの規約・議定書に規定されたものかを判断する。	4	2.0	48.9
問4	12	(1) 現代の政治 イ 現代の国際政治	核軍縮・軍備管理について定めた条約の理解	/	核軍縮・軍備管理に関する条約の内容について、正しくとらえる。	3	1.0	32.7
問5	13		冷戦終結後の国際紛争の特徴についての理解	現代における政治、経済、国際関係に関わる事象の関係やその意味や意義について考察することができる。	冷戦終結後の国際紛争の特徴を、冷戦時のそれと比較し、考察する。	3	1.7	57.9
問6	14	(1) 現代の政治 ア 民主政治の基本原則と日本国憲法 イ 現代の国際政治	国際法上の自衛権についての理解	現代における政治、経済、国際関係に関わる「考え方」や制度、政策などの本質をとらえることができる。	国際法上の自衛権に関する基本的知識を基に、自衛隊法の二つの条文の内容について判断する。	3	2.4	79.9
問7	15	(2) 現代の経済 ア 現代経済の仕組みと特質 (3) 現代社会の諸課題 イ 国際社会の政治や経済の諸課題	環境保護のための手法についての理解 情報を図式化し整理する技能	現実社会の諸課題について、その解決に向けて、様々な立場からの主張を根拠に基づいて考察し、公正に判断することができる。	汚染物質の規制について書かれた資料から、社会にとって効率的な環境保護のための手法について考察し、判断する。	4	2.7	68.5

第3問 問題のねらい

生徒が経済に関する課題を探究することを目的にテーマを選択し学習することを通して、経済の仕組みや市場の機能についての理解や、経済の基本的な見方・考え方をを用いて、現代の経済的課題を考察する力を問う。

	解答番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	配点(点)	設問平均点(点)	設問正答率(%)
			知識・技能	思考力・判断力・表現力				
問1	16	(2) 現代の経済 ア 現代経済の仕組みと特質	高度経済成長後の金融に関する環境の変化についての理解		高度経済成長後の金融に関する環境の変化についてとらえる。	3	1.0	34.0
問2	17		市場の仕組みについての理解	現代における政治、経済、国際関係に関わる事象について吟味し、その因果関係を多面的・多角的に考察することができる。	価格メカニズムの考え方を具体的な価格変動の事例をもとに考察する。	4	1.4	35.8
問3	18		物価変動の要因や影響についての理解	現代における政治、経済、国際関係に関わる事象について吟味し、その因果関係を多面的・多角的に考察することができる。	インフレーションの要因と影響について考察する。	3	1.2	39.4
問4	19		国の経済活動を測る指標についての理解 国の経済活動を測る指標に関する資料を読み取る技能		国の経済活動を測る指標を正しくとらえる。	3	1.8	61.0
問5	20		国の経済活動を測る指標についての理解 国の経済活動を測る指標に関する資料を読み取る技能	現代における政治、経済、国際関係に関わる事象の関係やその意味や意義について考察することができる。	選択肢で示された概念等と国の経済活動を測る指標との関係を考察する。	4	2.1	52.6
問6	21		国民生活における租税の意義と役割についての理解	現実社会の諸課題について、その解決に向けて、様々な立場からの主張を根拠に基づいて考察し、公正に判断することができる。	ジニ係数についての資料を読み取り、その変化の意味を考察し、所得格差を縮小する所得税の課税方式について判断する。	3	2.1	69.1
問7	22		日本の雇用と労働についての理解		労働条件について定めた日本の法律についてとらえる。	3	2.0	65.8
問8	23		(2) 現代の経済 ア 現代経済の仕組みと特質 (3) 現代社会の諸課題 ア 現代日本の政治や経済の諸課題	日本の少子高齢化についての理解 日本の人口の推移に関する資料を読み取る技能	諸資料を活用し、現代における政治、経済、国際関係に関わる課題をとらえることができる。	日本の少子高齢化の状況について、根拠となる資料を用いて考察する。	4	2.4

第4問A 問題のねらい

生徒が大学のオープンキャンパスで模擬授業に参加した場面を想定し、現代の国際経済の仕組みや国際資本移動の自由化の影響について考察する力を問う。

	解答番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	配点(点)	設問平均点(点)	設問正答率(%)
			知識・技能	思考力・判断力・表現力				
問1	24	(2) 現代の経済 イ 国民経済と国際経済	国際金融に関する制度及び国際経済機関についての理解	現代における政治、経済、国際関係に関わる事象の関係やその意味や意義について考察することができる。	国際金融の動向を理解する上で重要な制度及び国際経済機関の役割について考察する。	3	1.3	43.0
問2	25		国際資本移動についての考え方の理解	現代における政治、経済、国際関係に関わる事象の関係やその意味や意義について考察することができる。	示された資料を基に、国際資本移動に影響を及ぼす様々な要因について考察する。	3	1.2	41.2
問3	26	(2) 現代の経済 ア 現代経済の仕組みと特質	貨幣の役割についての理解		貨幣が経済において果たす役割のうち、価値貯蔵手段としての役割を正しくとらえる。	3	0.9	29.2

第4問B 問題のねらい

オープンキャンパスに参加した生徒たちが、国際経済についてさらに学習を進める場面を想定し、為替相場の変動や国際収支統計、EUの動向、ODAの在り方といった現代の国際経済の課題について考察する力を問う。

	解答番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	配点(点)	設問平均点(点)	設問正答率(%)
			知識・技能	思考力・判断力・表現力				
問4	27	(2) 現代の経済 イ 国民経済と国際経済	為替相場の変動の影響についての理解 為替相場の変動を示した資料を読み取る技能	現代における政治、経済、国際関係に関わる事象について吟味し、その因果関係を多面的・多角的に考察することができる。	ブラザ合意後の円ドル相場の変動を示すグラフを読み、その影響について考察する。	3	1.4	47.1
問5	28		国際収支統計の仕組みについての理解	/	国際収支統計の仕組みについて正しくとらえる。	4	1.3	33.3
問6	29	(1) 現代の政治 イ 現代の国際政治 (2) 現代の経済 イ 国民経済と国際経済	EUを中心とした国際政治や国際経済の動向の理解	現代における政治、経済、国際関係に関わる事象の関係やその意味や意義について考察することができる。	EUをめぐる国際政治や国際経済に関わる出来事の相互の関連を理解し、前後の関係を判断する。	3	1.5	51.1
問7	30	(2) 現代の経済 イ 国民経済と国際経済 (3) 現代社会の諸課題 イ 国際社会の政治や経済の諸課題	ODAについての理解	現実社会の諸課題について、その解決に向けて、様々な立場からの主張を根拠に基づいて考察し、公正に判断することができる。 現代における政治、経済、国際関係に関わる課題を多面的・多角的に考察した過程や結果を、理由や根拠に基づいてまとめることができる。	ODAについての異なる立場について考察し、その根拠となる資料を正しく判断する。	4	1.2	29.3